

中田かわら版 5月号

～中田地区の地域活動をお知らせします～

発行：中田連合地区経営委員会
制作：中田かわら版制作編集委員会

協力：中田連合自治会 泉区役所
横浜市踊場地域ケアプラザ

■中田地区民生委員児童委員協議会

こころ癒す「中田子育てサロン」

踊場ケアプラザで第2金曜日に行われている「子育てサロン」(石井マサ子代表)。毎回40組以上の参加があり3階ホールは若いママや幼児でにぎわう。このサロンを支えているのが石井会長以下20人近くの民生委員(うち男性5人)たち。進行役や歌、ゲーム、読み聞かせなどは専ら女性で、男性は1階入り口で下足番やエレベーターで案内役をしたり、裏方さんでサロンを支えている。フリータイムに入れば良き叔父ちゃん役で頑張る。微笑ましい風景である。サロンのプログラムは午前10時15分からはじまり、10時30分からフリータイム(おもちゃで自由時間)、11時10分お楽しみ会(紙芝居、読み聞かせ、ペープサートなど)、11時30分になると「お帰りの歌」を全員で歌って45分に終わる。サロンを訪問した日、石井会長から歓迎のあいさつ。サロンのオープニングは簡単なあいさつの後、6人の女性委員が登場、1列に腕を組み笑顔いっぱいになり歌い出す。「ごんべいさん」「春よこい」「うれしいひな祭り」など季節に合ったコーラスで、会場は一気の盛り上がったところで早くもフリータイム。おもちゃがいっぱいに広げられワイワイ大賑わい。自由で広々とした場所で遊ぶのは家庭ではできない、ここだけの楽しい空間かも知れない。若いママに交じって委員たちはおじいちゃん、おばあちゃん役に早変わり。子どもたちとおもちゃで興じたり、赤ちゃんを抱っこしたり。別室ではテーブル、いすが置かれ10組ほどのママたちが思い思いに歓談中。和やかに話し合っている情景はほっとした雰囲気がある。中には子育てに役立つ情報交換もあるだろう、悩み相談もここでは気楽におしゃべりできる場にもなっている。

きょうが初めて参加したというあるお母さんは「奈良から横浜に来て、こういう子育てサロンを知って良かったです。向こうには全然なかったので助かります」。次に、ここを常連にしているというお母さんたち4、5人に集まってもらい、いろいろな意見や考えを聞くことができた。

◎家庭ではできない広々とした場所で子供同士のおもちゃ遊び。おもちゃのとりっこで泣いたり喧嘩などするけどいい経験になります。



中田子育てサロン

◎人見知りをしなくなりました。のびのびと遊んでいる姿を見ると嬉しくなります。

◎普段、お年寄りと接する機会がないので、子どもにとっていい体験をしています。

◎踊場地区センターからきて教えてくれるリトミック(リズム体操)はとても楽しい。

◎月に1回ではもの物足りないので、2回ぐらいやってほしい。

◎親同士、先輩後輩なく気楽に相談、お話しできることが一番の感謝です、など。

子育てのお母さんたちの期待を一身に背負った民生委員の皆さんたちの共通した気持ちは「子どもを通して親や子どもの楽しい様子を見てみると、こちらが逆に癒されます。やっつけて良かったなァと」。石井会長を中心に委員一人ひとりが自分の役割を自覚しプログラムをテキパキ遂行しているサロンは素晴らしい会だ。中田連合副会長・岩城(孝子)さんが大型絵本の読み聞かせをみごとに演じていた。

(編集委員 宮田貞夫)

～一人ひとりがCO₂を減らす努力をし、美しい地球を子どもたちに残そう!～

6月のイベント

このチラシの情報をより詳しく知りたい方は、踊場地域ケ
アプラザ 葛西（かさい）まで問い合わせください。
TEL 801-2114 FAX 801-2923

【町会運動会情報】

6月5日(日)に複数の町内会で運動会が開催されます。

- ・中田踊場…中田町第九公園：9:00～
- ・中西…中田町丸の内公園：8:30～
- ・葛野7町会…葛野小学校グラウンド：8:30～
- ・東原…しらゆり公園野球場：8:30～



※葛野7町会…山神前、葛野、葛野東、戸塚苑、春日、山百合、高砂
連絡：各町内会にお問合せください（日程変更の可能性もあります）。

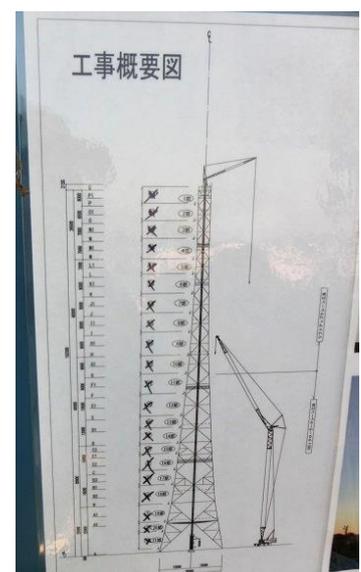
深谷通信隊跡地の今後

深谷通信隊の跡地から160メートルの鉄塔が今は消えている。無くなってみると昔から馴染み親しんだ鉄塔だけに何となく寂しい気もする。当初は昨年の10月から作業を行い今年の2月、完了する予定だったが12月には解体が終わっていた。現在はすべての鉄材も撤去されている。

昨年6月30日、「神奈川県における在日米軍施設・区域の返還」により泉区深谷通信隊跡（77ヘクタール）、上瀬谷通信施設（242ヘクタール）、池子住宅171戸の返還が決まった。深谷の場合、返還後は防衛庁が地上の建物、地下の通信ケーブル（延長約11000m）、工作物、施設などを調査する。土壌の安全性などを検査し安全が認められれば、次は財務省に引き継がれる。横浜市は利用計画案を財務省に提出、同意が得られれば、市は今年度から実施設計に入る予定。18年に通信隊跡地の利用計画案でコンペを行い353件の応募があり、その時の入選作品の概念も当然考慮される。地元の返還対策協議会や市民の意見も聞きながら「旧深谷通信所跡地利用基本計画の考え方」をまとめていく。

◎泉区は区制30周年に当たり、当跡地を使ったイベントを検討中。

<国有財産法>国が利用する場合は国が最優先。国に予定がない場合は地方自治体に払い下げられる。自治体に予定がないときは民間に、と優先順位が決まっている。自治体が公園として利用する場合、3分の1を原価で買い取れば後の3分の2は無料で貸す。なお、返還されたとき、米軍の原状回復はなく日本側が持つ。



(宮田貞夫)

「中田白百合地域情報サイト」にて地域の最新の情報や、かわら版バックナンバーなどを調べることができます。www.odoriba-cp.jpへアクセス！！